

ラベルニュース

No385

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 28 年 11・12 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

東京都が VOC 排出削減対策・
化学物質適正管理に協力を要請

東京都は、平成十八年四月に「東京都VOC対策ガイド「工場内編」」を作成しましたが、発行から十年が経過し、業種や企業規模により排出削減の進捗が異なっていることや、VOC排出抑制の技術も進歩していることから、今年の三月にガイドの改訂を行いました。

今回の改訂では、最新の技術動向に合わせ掲載する具体的な排出抑制策を見直すとともに、ガイド全般にわたって排出抑制策導入時の作業環境改善に関する情報を追加するなど、より工場からのVOC排出削減に取り組みやすい内容になっています。

これまでのガイドと同様に、本ガイドが広く活用され、事業者の方々に効果的な排出抑制対策に組み込んでいただくことで、工場におけるVOCの排出抑制が更に推進されることが期待されています。

本VOC対策ガイド(工場内編)は、事業者が個々の事業所の実態に即したVOC対策に自主的に取り組めるよう、工場・事業場におけるVOC排出抑制のための技術的方策を分かりやすく説明したもので、主に中小事業者に対して技術的な支援を行うことを目的として作成したものです。

このガイドは、都内でVOC排出量の多い4分野(工場内塗装、印刷、金属等脱脂洗浄、ドライクリーニング)を対象として、VOC排出抑制策を説明していますが、この中で印刷業者が簡単にでき、比較的效果の高い、VOC排出抑制対策を紹介しています。

これらの方法を参考に、出来ることからVOCの排出規制対策を進めましょう。

おける揮発防止

ポイント・版を洗浄したウェスをすぐ密閉容器に入れますよう。

対策① 洗浄溶剤の少量化 洗浄剤は一度に大量に使うよりも少量で回数を多くした方が、余分な溶剤の使用を抑えることが出来ます。交換・洗浄作業の標準化を図りましょう。

対策② 洗浄用具からのVOC発生の防止 洗浄作業の後、廃タオルや廃ウエスは、放置せず密封した容器に入れるようにしましょう。

ふた閉めは蒸発濃度が百分の一になります。

■保管・貯蔵における揮

発防止

ポイント・溶剤の入った容器のふたをしっかり閉め保管・管理を徹底しましょう。

対策① インキや溶剤の入った缶・容器の蓋閉め励行。

対策② 容器や栓・蓋のチエック インキ・溶剤を保管・貯蔵する容器は丈夫な材質のものを使い、容器の

■版交換時の洗浄作業に

破損や栓・蓋の外れによってインキや溶剤が漏えいしないようにしましょう。

対策③作業場での容器の置き場所のチェック

インキ・溶剤は適度な空間を持たせて密閉し、直射日光を避け、風通しの良い場所に保管しましょう。必要に応じて冷却装置などを設置しましょう。

■低 VOC 洗浄剤への転換

ポイント・低 VOC 洗浄剤を使用しましょう。

低 VOC 洗浄剤への転換
塩素系、フロン系、炭化水素系→エマルジョン、植物油系、水系

VOC の揮発のし易さは蒸気圧や沸点が目安になります。一般に蒸気圧が低いほど、また、沸点が高いほど揮発しにくい傾向があります。危険性や有害性を確認するために、メーカーから MSDS(安全データシート)を入手するようにしましょう。

洗浄剤代替の際の検討
項目の例

洗浄性、安全性(有害性)、法規制、乾燥性、製品や設

備への影響、コスト、引火性、環境影響(オゾン層破壊、地球温暖化など)、必要な設備(費用、スペース)

■植物油タイプインキへの転換

ポイント・大豆油やノン VOC インキへの転換
アロマフリーインキ(石油系 30〜40%)
大豆油インキ(石油系 20〜30%)
ノン VOC インキ(石油系 1%未満)

植物油インキは石油資源の保護にもつながります。

当初は作業性、乾燥性が若干低下し、コストも割高になると評価されていましたが、インキ品質の向上によって、乾燥性・インキ特性は従来インキ以上となり、コストも改善されています。東京都では「VOC 対策アドバイザー派遣制度」を設けて、中小企業の自主的な取り組みを支援するために、知識と経験を有する専門家が工場を訪問し様々な作業・場所等に於いて VOC の簡易測定を無料で行っています。その測定結果。

現場の作業状況から今後 VOC 排出対策の助言を行っていただきますのでこれもご利用ください。

■なぜ、VOC 対策が必要なのか？

VOC とは揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds) の頭文字を取ったもので、印刷ではインキの溶剤などに使われるトルエンや、湿し水に使われるイソプロピルアルコール(IPA)等大気中で気体となる有機化合物の総称です。VOC は窒素酸化物

(NOx)とともに太陽の紫外線を受けて、有害な光化学オキシダント(Ox)を生成します。光化学オキシダントは目や喉への刺激等の人的被害だけでなく、農作物等の植物被害も引き起こします。VOC は他に、浮遊粒子状物質(SPM)や微小粒子状物質(PM_{2.5})にも変化します。

工場・事業場に対するばい煙の排出規制やディーゼル車の排ガス規制等により東京都のタイは環境は改善されてきました。ところが光化学オキシダ

ントは、いまだ環境基準を達成できないばかりか、近年高濃度化・広域化する傾向にあります。

化学物質のリスクアセスメントの基本的な考え方や進め方は、一般的な作業や設備のリスクアセスメントと共通ですが、化学物質の危険性や有害性について考慮する必要があり、労働安全衛生法改正により、この化学物質のリスクアセスメントの実施が事業者の義務となりました。(平成二十八年六月一日施行)

東京都では今後もより一層 VOC 削減を進めていくために、都内の排出量の大部分を占める中小事業者を中心に寿的取り組みの支援を行っていくとしています。環境問題、リスクアセスメント、VOC 対策についての問い合わせは左記まで。

東京都環境局環境改善部
化学物質対策課企画係

☎ 03-5388-3457 FAX

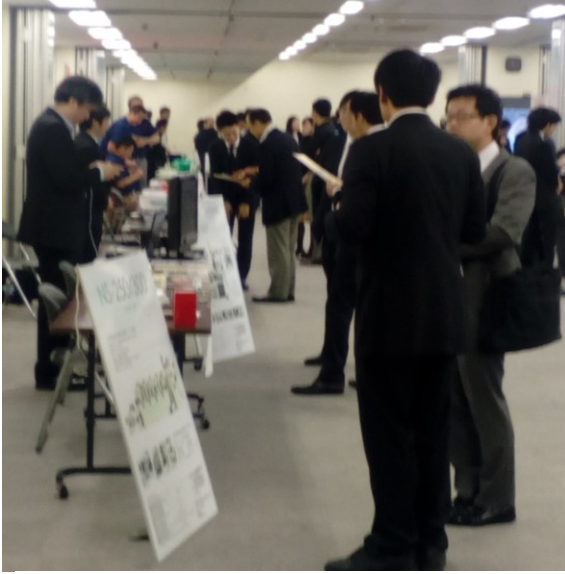
03-5388-1376

ホームページは左記まで

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air_pollution/voc](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air_pollution/voc/index.html)

[index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air_pollution/voc/index.html)

**第18回ラベル関連ミニ機材展
初のオペレーター懇談会も開催**



18社が最新鋭機材を一堂に展示

第十八回ラベル関連ミニ機材展は、十月二十二日（土）午前十時より、台東区柳橋の「東商センター」に於いて開催されました。同展は今や組合の恒例行事から業界の恒例行事となり、今回も十八社が最新鋭の印刷関連機材を出店し、会場は多くの参加者で賑わいました。

今回出展したのは、丸伸製作所、リントック、フナミズ刃型製版、森下製版、サンワコーケン、ソルテック工業、大王製紙、エイブリイ・デニソン・ジャパン、マテリアルズ、デジタル・イメージングコーポレーション、メデアテクノロジ、メデアテクノロジジャパン、創風システム、サンケイビジネス、エプソン販売、塚谷刃物製作所、光文堂、三條機械製作所、久保井インキ、日本ウエスト、村田金箔の十八社。

各社とも最新鋭機材を出展したが、特に今回注目されたのは、メデアテクノロジジャパンの水性インクジェット方式のデジタル印刷機（六面に詳細）で、斬新なデザインと優れた印刷性能が参加者の足を止めさせました。

この他にも印刷機、製版システム、インキ、簡易色判定システム、刃型などが



初のオペレーター懇談会



説明にもついつい熱が入ります

紹介され、タック紙も久しぶりにリントック、大王製紙、エイブリイ・デニソン・ジャパン・マテリアルズが最新の様々な用途に対応できるタック紙を出店した。

また、今回初めての試みとして、シール印刷のオペレーターを対象とした座談会開催され、北島憲高技術委員長の司会進行で、実



出展各社がプレゼンテーション

に現場で印刷をしているオペレーターが参加して、日頃困っていることについて、意見を交換し合い、明日からの仕事に役立ててもらいたいと、特別参加の連合会の山下庫太技術委員長も技術伝承セミナーの内容について熱のこもった説明がありました。

参加者からは、「みんな同じ悩みを抱えていることが分かった」、「今後も是非開催してほしい」という声が多く上がっていました。

午後からは出展者によるプレゼンテーションが行われ、各社とも五分間の持ち時間を最大限に使うと、必死に説明する姿が印象的でした。

第五十八回年次大会沖縄大会盛大に 初の開催に全国から三〇〇名が参加

第五十八回根場大会沖縄大会は、十一月四日(金)に九州シール印刷協同組合の担当で、沖縄県那覇市の



ラベルコンテストの表彰式も



沖縄古典舞踊で盛り上がった懇親会



懇親会も大いに盛り上がり



ラベルコンテストの展示も

「シールで繋がるおーきなわ」を大会テーマに、式典は午後三時から開催され、開会の辞、国歌斉唱、先輩物故者に黙とうをした後、濱崎順一理事長が「4月の熊本地震の際の全国の支援に感謝する」と謝辞を述べ、さらに「こういう厳しい時期だからこそ、組合の理念である『相互扶助の精神』の下で、年次大会の場でさらに結束を深めていきたい」開会の辞を述べました。

この後「シールで繋がるおーきなわ」をテーマにした大会宣言が採択され、次回担当協組の東京都正札シール印刷協同組合の田中祐副理事長が閉会の辞を述べた。

また、特別企画として九州の青年部による活動の様やデジタル印刷機でのラベルの政策を披露しました。

式典終了後、同会場で懇親会が開催され、濱崎順一理事長の挨拶の後、アトラクションとして子供舞踊集団「花やから」による素晴らしいパフォーマンスが繰り上げられ、ユーモラスな子供たちの沖縄古典舞踊が会場の喝采を浴びました。

翌日は「Aコースの観光コース」と、「Bコースの懇親ゴルフ」とに分かれ、それぞれが沖縄の魅力を満喫しました。

続いて田中浩一連合会長が「個々の企業では限界がある課題でも、全国の九協同組合が一丸となって取り組んでいくことができ、組織の拡大と活性化に今後とも努めていきたい」と主催者を代表して挨拶しました。

さらに熊本地震のお見舞いに対する全国からの支援に対して坂本研一専務理事が組合員を代表して感謝の言葉を述べました。

来賓祝辞の後、組合功勞者表彰として六名が表彰され、続いて「第二十六回シ

日本印刷産業連合会 G P 認定制度 P R 大使に小山薫堂氏を任命す

日本印刷産業連合会（以下「日印産連」東京都中央区会長：山田雅義）は、グリーンプリンティング認定制度の社会的認知度を高め、消費者にとって身近な存在としてアピールするため、小山薫堂氏（写真）をグリーンプリンティング P R 大使に任命しました。

日印産連では印刷業界の環境配慮自主基準を達成した工場・事業所を認定するとともに、同基準に適合した印刷製品へ「グリーンプリンティングマーク（GPマーク）」を表示する印刷総合環境配慮制度「グリーンプリンティング認定制度



日本タレント名鑑

多くの連載や著作があるなど印刷産業とも関わりが深く、さらに原稿用紙や便せん、活字にまでこだわりを持つ氏の高い感性と発信力の力を借りながら、印刷業界が地球環境の負荷低減に真摯に取り組んでいることを社会に伝え、G P マークの信頼性と認知度を高めていきたいとしています。

なお、去る十月二十四日、「グリーンプリンティング認定制度二〇一六表彰式・P R 大使就任式」が千代田区・ホテルニューオータニで開催され、小山薫堂氏の特別講演が行われました。

そこで地球環境保全と社会的貢献の観点から、今年はじめて「グリーンプリンティング P R 大使」を創設、初代 P R 大使に小山薫堂氏の就任が決定いたしました。

氏は、二〇〇九年第一回アカデミー賞外国語作品賞を受賞した映画「おくりびと」をはじめ数々のテレビ番組や映画の放送作家、脚本家として知られ、

新年合同賀詞交歓会
1月12日(木)に開催
上野精養軒「桜の間」

平成二十九年新年合同賀詞交歓会は、来年一月十二日(木)に台東区の「上野精養軒」に於いて、当組合担当で開催します。

開催概要は次の通りです。

■日時・平成二十九年一月十二日 午後五時

■会場・上野精養軒三階「桜の間」

■会費・一名・一万円 青年部は七千円（ただし代表者は除く）

協賛会は一社一名までは協賛会が負担。二名からは一人一万円。

■申込み・同封の申込書に記入の上、FAXにて十二月十六日までに申し込みください。

メディアアテクノロジー
 ヤパン(東京都江東区越中
 島一丁目一・一〇五六二一
 ・八二六六)では、イニシャ
 ルコストを抑えた水性イン
 クジェットラベルプリンテ
 ーイングシステム「True
 press Jet L250」を発売し、注目を集
 めています。

一六〇〇×一・六〇〇d
 piの最高解像度と、最小
 1.2ピコリットルの液滴
 を実現する専用ヘッドを搭
 載し、階調豊かで自然なク
 ラデーションを再現。さら
 に最高一八m/分の生産性
 で、ストレスなく高速で出
 力することができます。

コンバクトなホデイで、
 既設ラインとの併用もスム
 ーズで、デジタル印刷領域
 のビジネス拡大に役立つと
 期待されています。

同機は①少ない初期投資
 ②高品位品質③イージーオ
 ペレーション④コンパクト
 設計の四つの大きな特徴を
 兼ね備えたラベルプリンテ
 ーイングシステム。

同機のおもな特徴は、

「Truepress JetL250」を発売

水性インクジェットラベルプリンティング
 システムがラベルの常識を変える



■品質を支える高度な機能

■イージーメンテナンス

- ・印刷ヘッドのオートクリ
 ーニング機能
- ・ウェブセンサーによる蛇
 行防止
- ・追い刷り時の高精度自動
 見当合わせ機能
- ・ウェブクリーナーを搭載
 ・カス上げ済みのロール紙
 にも対応
- 最高レベルの印刷品質
- ・ハイクオリティモード：
 一六〇〇×一・六〇〇dpi
- ・イージーモード：二六〇
 〇×八〇〇dpi
- ・最小1.2ピコリットル
 のインク液滴
- イージーメンテナンス
- ・ヘッドやインクカード少
 ツジなど各種消耗品パーツ
 は、お客様で簡単に交換が
 可能
- イージーオペレーション
- ・直感的でわかりやすいタ
 ッチスクリーンインターフ
 ェース
- ・マグネット式ペーパーロ
 ック機構の紙繋ぎテープル
 ・ロール交換も手間なく簡
 単
- 機械仕様・印刷方式
- ・シングルパス方式。用紙幅
 二五〇mm〜二五〇mm、印刷
 幅二二二・八mm、ロール
 紙径二最大六〇〇mm、用紙
 厚二〇・一〜〇・三mm、イン
 ク二水性インク、装置サイズ
 二九一六・五×一、五九一×
 一、五〇〇mm
- 版の貼り込みや印刷開
 始時の見当合わせ・色合わ
 せの必要がないデジタル印
 刷は、印刷前準備での煩雑
 な工程をなくし、入稿から
 出力までをシンプル化する
 ことで飛躍的に生産時間を
 短縮経として